

9月25日産官学共催セミナーを開催しました。概要は以下のとおりです。会場はほぼ満員の盛況ぶりで、文字通り「産・官・学」の各方面からの報告と、質疑の短い時間の中で貴重な議論と提案がなされました。今後の活動につながるものと関係者一同、期待が大いにふくらみました。

産官学共催セミナー 林業新時代へー早生樹林業と国産広葉樹材への期待

熊本県で開発されたセンダン育林技術は非常に大きな可能性を秘めている。短伐期施業は木材生産の効率化のみならず、木材加工業や木質製品製造企業のニーズに合わせた原木生産を可能にする。本セミナーでは、国内での早生樹林業の可能性に注目する。

主 催：(公社)日本木材加工技術協会関西支部早生植林材研究会、近畿中国森林管理局、京都府立大学森林科学科

共 催：(公社)日本木材加工技術協会九州支部

協 賛：(一社)京都府木材組合連合会、(一社)大阪府木材連合会、兵庫県木材業協同組合連合会、和歌山県木材協同組合連合会、奈良県木材協同組合連合会、滋賀県木材協会

後 援：林野庁、(一社)日本木材学会、(一社)日本森林学会、京都府森林組合連合会、大阪府森林組合、兵庫県森林組合連合会

日 程：平成27年9月25日(金)13:00～

会 場：京都府立大学稲盛記念会館

内 容：

13:00 開会の挨拶 近畿中国森林管理局 局長 青木庸三氏

13:15 日本での早生樹林業の挑戦 林野庁 次長 沖 修司氏

14:00 国産広葉早生樹への期待～環境負荷評価に向けて～

日本木材加工技術協会 会長 服部順昭氏

14:45 休憩

15:00 森林経営における時間との戦い～時は金なり 京都府立大学 副学長 田中和博氏

15:45 日本における広葉樹材の利用状況 森林総合研究所 青井秀樹氏

16:15 国産早生樹センダン材利用の可能性

早生植林材研究会 村田功二氏(京都大学)、宮藤久士氏(京都府立大)

別 室：センダン材を利用した試作品の展示、京都府立大のセンダン研究紹介、平林会の活動紹介、他



セミナー会場の様子



質疑応答の様子



別室にて試作品展示、研究紹介、活動紹介の様子